

商工中金とメタルテック

# 災害対応型 C L 締結

## 総額 5 億円、BCP 対策評価

商工組合中央金庫（商工中金）は24日、同社押上支店がパンチングメタルなどの製造販売を行うメタルテック（本社「東京都墨田区、大野裕貴社長」）に対し、災害対応型コミットメントライン5億円を開設したと発表した。地震や大雨などの自然災害発生時も安定した資金調達を可能にする。浦安鉄鋼団地に拠点を構える鉄鋼関連企業が同コミットラインを締結するのは、押上支店の顧客では初めて。

サプライチェーン継続に向けた取り組みを推進してきた。今回の災害対応型 C L 導入で、大規模災害時も販売先の要望に迅速かつ柔軟な対応ができるよう円滑な資金調達手段を確保し、事業の継続性とステークホルダーからの信頼を高める。

導入にあたっては、商工中金が現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、財務上の強みや課題を共有。関東・関西に拠点を構える同社が災害時にも販売先への安定供給が求められることを確認した。同社が B C P 対策に万全を期している点も評価した。

コミット期間は27年6月24日まで。4回の更新オプションあり。同社が事業拠点を置く東京都、千葉県、茨城県下で震度6弱以上の地震発生時や24時間当たり降水量300ミリの以上または1時間当たり降水量50ミリの以上の降水発生時でもコミット総額範囲内で迅速な資金調達が可能となる。

一方、災害対応型 C L は一定規模以上の震災などについて、金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっており、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき、迅速な資金調達が可能となる。

2026年6月25日付  
日刊産業新聞

押上支店の今井周邦次長（浦安出張所所長）は「バックアップライ

ンがあると、メタルテックさんのお取引先も安心する。災害発生時にサプライチェーンを止めないことが最も大事だ」と話す。

コミットメントライン（C L）とは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で企業が随意借入を可能とする契約。一般的な C L では、震災などの大規模災害時は金融機関の貸付不能事由とされ、企業にとっては発災直後の資金確保に困難が生じる可能性がある。

一方、災害対応型 C L は一定規模以上の震災などについて、金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっており、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき、迅速な資金調達が可能となる。